未成年者喫煙防止対策評価のための成人式における 喫煙率調査の試み

- **目的** 成人式における喫煙率調査を試行し、未成年者喫煙防止対策の基礎値把握および長期評価 指標としての実用性を考察する。
- 対象および方法 学校・地域保健連携による包括的地域たばこ対策を推進している新潟県 A 村 (人口約6,500人) とその近隣の B 町 (同12,000人) を対象地区とした。平成14年度に 2 地域 の公的行事である成人式に出席した新成人 (A 村69人, B 町118人) を対象に、現在の喫煙 状況、初喫煙年齢、喫煙常習化年齢 (A 村のみ)、出身小学校等を無記名自記式アンケート により調査した。
- 結果 A 村の男女別新成人喫煙率は、男性68.0%、女性48.6%、かつその約9割は毎日喫煙者であり、喫煙者の7割以上が未成年期で常習化を来していた。B 町の新成人喫煙率もほぼ同様の結果であった。なお、高校生を対象とした喫煙率調査のみでは未成年者喫煙率が20%程度低く見積もられる可能性が示唆された。
- 結論 成人式を活用した喫煙率調査は、未成年者喫煙防止対策の基礎値把握および長期評価の簡 便な指標として実用可能である。

Key words:未成年者喫煙防止対策,評価指標,成人式,喫煙率調查

連絡先:〒951-8510 新潟市旭町通 1-757 新潟大学大学院医歯学総合研究科国際感染医学講 座公衆衛生学分野 関 奈緒

^{*} 新潟大学大学院医歯学総合研究科国際感染医学講 座公衆衛生学分野

^{2*} 新潟大学大学院医歯学総合研究科地域予防医学講座健康増進医学分野